

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	交通安全施設整備事業	担当課	総務課
事業内容(簡潔に)	交通安全対策が必要な道路へのカーブミラーの新設及び修繕		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	安全・安心に暮らせる強いまちづくり
	政策	安全・安心なまちづくり
	施策	交通安全・防犯の推進
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	交通安全対策を必要とする道路にカーブミラー等の設置・修繕を行い、安全かつ快適に通行できるよう各種安全施設の整備を行う。
事業の手段	地区からの申請に基づき、カーブミラーなどの交通安全施設の設置や既設施設の修繕を行う。 地区境界などに属する箇所でも市が直接管理する街路灯の維持管理を行う。
事業の対象	市民全般

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	1,953	2,029	2,222
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	1,953	2,029	2,222
B	担当職員数(職員E) (人)	0.1	0.1	0.1
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	686	672	658
D	総事業費(A+C) (千円)	2,639	2,701	2,880
主な事業費用の説明	カーブミラーの設置・修繕費用、街路灯の電気料、その他交通安全施設(赤色灯・信号機)に関する経費			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 カーブミラー必要箇所の検証数	(新設要望数)	12	10	16
	2 カーブミラー修繕必要箇所の検証数	(箇所)	14	28	17
	3 信号機設置・横断歩道・路面標示補修箇所の検証数	(箇所)	10	10	7
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	カーブミラーの新設については、建物や外壁等が原因で見通しの悪い交差点やカーブにおいて、車両の目視確認が困難な場合に設置することを基本とし、鏡面の死角やミラー設置による運転者の過信運転を引き起こす可能性がある箇所への設置見送りなど、現地を確認する中で、適切な運用に努めている。			
	2	カーブミラーの修繕については、破損などによる鏡面の取替えや角度調整など、交通環境に影響がないよう迅速に対応している。			
	3	地区から要望のある信号機や横断歩道の設置、路面標示の補修などは、現場を確認し、規制が伴うものについては警察に依頼している。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	カーブミラー新設数・実施率 (基) 新設数/検証数 (%)	7 58.3	7 70	11 68.8
	2	カーブミラー修繕数・実施率 (基) 修繕数/検証数 (%)	14 100	28 100	17 100
	3	交通安全施設(信号機・横断歩道・路面標示)設置、補修、箇所数 (箇所) 設置(補修)数/検証数	4 40	4 40	3 42.9
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明		1 設置を見送った箇所については、車両手前位置での目視による確認が可能であり、カーブミラーを設置することにより、安全確認を怠る可能性が高いことから、新設の判定に関しては妥当である。 2 修繕箇所については全て対応済みであり、安全が確保されている。 3 信号機や横断歩道については県警で調査中の案件もあるが、路面標示補修などは、順次対応できており妥当である。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)		
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どのような形で具体化するのか)		
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 公道におけるカーブミラーの設置・維持管理については、安全面を第一とし、迅速かつ適正な対応及び支出に努める。交通規制を伴う信号機や横断歩道の設置については、市民の安全を確保するため、より具体的な根拠や理由、現状を説明し警察署に要望していく。		
過去の改善経過	改善の経過	なし	
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	公道におけるカーブミラーの設置・維持管理については、安全面を第一として従前どおり適正な支出に努める。 交通規制の伴う信号機や横断歩道の設置については、より具体的な根拠や理由、現状を説明し警察署に要望していく。		
課長所見	交通安全のため、カーブミラーなどの施設を整備することは必要である。		